

小P連だより

第41号

八王子市小学校PTA連合会
平成二年三月一七日発行

第一土曜学校開放

『あ・そ・び・ば』の特別企画
第九小PTA会長 古山 道子

いつもの『あ・そ・び・ば』は、九小の校庭と体育館で自由に遊ぶことのできる場だ。そのうち年に三〜四回特別企画が催される。

特別企画は、いつもの『あ・そ・び・ば』と同時に設けている体験の場だ。

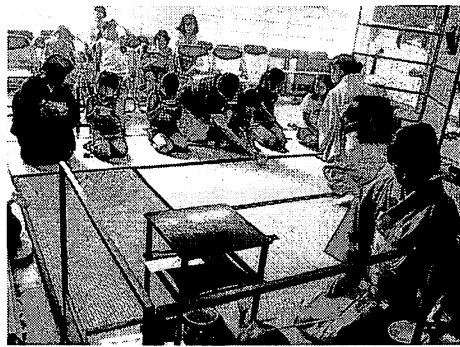
例えば「お花」「野の花を生けよう」野に咲く花を摘んできたり、用意された花で、色々な花器に生けてみたりしてみる。同じお花でも花器によつて生けた感じが変ること、一人一人生けて出来上がった作品にはそれぞれの表情があること、何より野の花、身近な花を生けることの楽しみを知る良い機会だ。

次に「お茶」「お茶を楽しむ」。

一教室が見事に和室に変身する。畳を敷き、釜が置かれ、香がたかれた部屋。お着物を着た先生方に、お茶の道具のこと、季節のこと、お茶・お菓子の頂き方などお作法を教えて頂く。何回か私も参加させて頂いた。そのシャキーンとした雰囲気背すじがスツと伸びる気がして

気持ちひきしまった。お道具に、お茶室としての飾りに、先生方の立ち居振る舞いに魅せられた。私が一番気に入ったのはお茶を頂く時、次の人に向かって「お先に」と言っておじぎをすることである。言うまでもなく、お茶もお菓子も大変美しく、大変美味なのもうれし。

とても教室とは思えない空間に



次は「折り紙」「折り紙を折ろう」。

折った後遊べるものだったり、季節に合わせた飾りものだったり、ユニットをたくさん折って組み合わせるものだったり、実に様々なものを教えていただける。丁寧に、一対一の様な形で先生と向き合い教えていただく。本当に優しく教えて

いらつしやる姿に感心する。あんな風に自分の子どもにも接することができたら・・・と思わされる。

次は「調理」「学校給食を作ろう」。

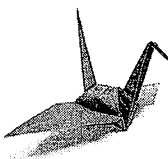
八王子の栄養士さん調理員さんで作られたグループの方々に「人気の学校給食メニューの作り方」を教えて頂いた。準備の手際の良さに「さすがプロ!」。手間ひまかけた学校給食、材料の良さ、作り手の思いまで感じることができた。朝ごはんの大切さまでお話頂けるトーク付き。一年生から六年生まで参加でき、それぞれに楽しめる課題を与えられつつ、おいしい調理の完成と試食。とても美味であった。

「お花」「お茶」「折り紙」の先生は地域の方々である。九小は本当に多くの地域のボランティアの方々を支えられている。子どもたちの為にと始められた体験の場ではあるけれど、そこで学ぶことは子どもたちだけでなく一緒に参加した親や役員にとつても意味のある場となっている。

大好評だった学校給食を作ろう



また、特別企画とは別に『あ・そ・び・ば』と同じ日時に「学校をきれいにしよう」と、気になる所のお掃除を会員がしている。校長先生に『学校をきれいにし隊』と名付けて頂き、地道な活動を続けている。思いがけず、児童の参加もあった。教職員の方々からは「有難い」とお声をかけて頂くことも多い。まだ、広がりを見せていない活動だが一度参加すると病みつきになる要素大。何かする度、多くの方々の協力を気付き、感謝なのである。



『地域里山体験』

川口小学校PTA会長 浅田 安宏

八王子市の北西に位置し、楢原交差点から秋川街道を五日市方面に三キロメートル程行きますと、左側に見える建物が川口小学校です。また、バスでは八王子駅から「川口小学校」行が出ていますのでご存じのことかと思えます。

さて、川口小学校では今年度から、青少対川口地区委員会の皆様と、川口地区環境市民会議の「畦っこ元気クラブ」各町会からの御協力により、里山での農業体験をさせていただいております。この活動は昨年度の三月に「早春の里山を散策」を機に、今年度は「子どもたちを交え農業体験をしてみよう」から始まりました。

農業体験といっても色々ありますが、今年度は「お米づくり」体験です。この作業は非常に大変です。まず田圃の代掻きからはじまり、田植え。猪が来るため、トタンでの防護壁をつくり、稲が鳥に食べられないように網掛け。稲刈り。そして脱穀、籾すり、精米と非常に手間がかかる作業です。その他にも多数の作業があります。

川口小PTAと子どもたちは、「田植え」と「稲刈り」と「脱穀」の作業をさせていただきました。「田植え」では田圃の中で泥こになりながら、線に合わせ後進しながら田植えをするのですが、間隔と深さが難しく、なかなかできない

経験もさせてもらいました。子どもたちは、当然泥だらけ。でも、田植えだけでなく、とんぼになるヤゴ探しにも夢中でした。

田植えの様子



次に参加したのは「稲刈り」です。稲を束ねて逆さにして、はざ掛け作業です。これがなかなか難しく、収穫量も多くて束ねても束ねても終わらない感がありました。こんなところからも農業の大変さを知ることができました。「脱穀」作業では千刃扱き、足踏み式脱穀機、動力付脱穀機の順番で作業をしました。時代の変化と共に技術の変化を見ることができました。先人たちの苦勞と苦勞から生まれた技術を体験して、改めて「すごい」と感じたのは私だけではなかったと思います。

ここまでの作業をさせていただいた、「畦っこ元気クラブ」の高野様をはじめ、青少対の皆様、地域の皆様、施設を提供してくれた川口中学校、そして、川口小学校の先生方に感謝申し上げます。最後に、作ったお米で「餅つき」大会

がありますので、たくさんの方々の参加をお待ちしております。

来年度に於いても五年生の学習として授業に組み込んで継続をしていく予定です。五年生で田植えを授業の中でやります。米づくりを通して食の大切さを改めて考えさせられた一年間でした。

脱穀の様子



『未来のサッカー選手に』

美山小学校PTA会長 菱山みゆき

平成二〇年九月三〇日に体育館にて、四く六年生が東京ヴェルディの佐々木コーチと横山コーチ、刀野(たつの)コーチから、サッカーの指導を受けました。

子どもたちは元気いっぱい楽しんでみながら、コーチの出すルールを守って、お互いに声をかけあい練習をしていました。最後に行われた試合では、四・五年生が六年生と対戦。

二人が手をつないだままの状態でチームを作り、ボール二つを使って競技を行いました。

佐々木コーチは、子どもたちに「分かんなくても、まずは真似して体を動かして、がんばって良かった。このチャレンジ精神はスポーツ以外でもとても大事です。」と話していただきました。

この経験が子どもたちの心に良い思い出とかがやく未来の夢につながるとうれしく思います。

『ウォークラリーで再発見』

平成二〇年九月二三日にPTA主催青少対が共催で「第一回ウォークラリー」が開催されました。

先生・保護者・ピーポくんの家に登録して下さっている地域の皆様の協力のもとで子どもたちが協力し合い交通ルールの問題・特色ある地域の問題を解きながら、タイムとクイズの得点を競い合いました。

今回は、クラス対抗で担任の先生と子どもたちが通学路にあるピーポくんの家を探したり、また、信号のない横断・狭い歩道・危険な場所を再確認しながら子どもたちはしっかり歩いていました。

地域の方々には、前もって子どもたちが訪れる事を説明し、回ったところ、「子どもたちからあいさつが出来ている」「声かけにきちんとこたえられる」等、普段の子どもの姿を褒めていただきました。

このウォークラリーを通じて、改めて子どもたちの育成に学校・保護者・地域の相互関係の大切さが再確認出来ました。ゴールに向かって子どもたちは、「楽しかった」や「問題が一つわからなかった」と笑顔で話してくれました。

子どもたちが、また一つ成長した姿を見せてくれた行事になりました。

ウォークラリーの様子



『安全な地域づくりのために』

清水小PTA会長 永田 稔実

清水小では、地域・保護者と一体となった教育活動を展開しておりますが、その一つに安全ボランティアの活動があります。

地域の方々にご協力いただき、今では総勢百五十名ほどの方が登録され活動されております。

主な活動としては、学校の登下校時に各方面の通学路に立ち、子どもたちの安

全を見守ることがあります。また、様々な学校行事にもご参加いただいたり、時には地域のイベントやお祭りなど、活動の場は清水小の子どもたちの枠にとどまりません。

登録されている多くの方々には、近所へのお散歩時やお買物時に積極的に、ジャンパー、帽子、腕章等、安全ボランティアと一目で分かる目印をつけて日常の活動をされています。

登下校時の安全を見守る活動の中では子どもたちとのあいさつにとても気を遣われており、当初は恥ずかしがったり、人見知りしたりでなかなか口を開いてくれなかった子どもたちが、今では気持ち良く『おはようございます』『さようなら』と言ってくれる様になったとの嬉しいお話もありました。

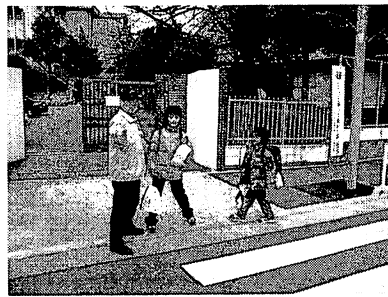
現在ではPTA会長をしている私よりも我が子の方が地域の方々に顔が広く、子どもたちの安全や地域の活性化を考えると、これほど喜ばしい事はないのではないのでしょうか。

そして、近年この地域では目立った大きな事件、事故、犯罪は一つも起きておらず、これもひとえに安全ボランティアの皆様地道な努力、ご協力のたまものだ、感謝の思いでいっぱいです。

本来であれば、ここで活躍のエピソードを一つ二つお伝えしたいところではありますが、おかげさまで事件、事故防止そして犯罪の抑止という面で大きな功績が上がっているため、残念ながら、とうりよりも嬉しいことに、活躍のエピソードがお伝えできません。

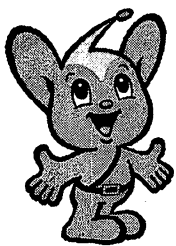
事件、事故防止、犯罪の抑止には、多くの方々の連携と同時に『地域の目』というものがいかに大切かと言う事をご理解いただき、今後も更に安全な地域作りにも多くの方々にご協力いただければと思っております。

登下校の風景



もちろん子どもたちに、自分の身は自分自身で守る術を伝えて行くのは当然の事ですが、保護者の方々の連携、地域の方々の連携こそが、学校内外のあらゆるトラブルの解決への一番の近道だという事を我々が再認識し、行動をおこして行く事こそが、安心、安全な地域への第一歩だと強く思う今日このごろです。

そして、清水小では今でも着実に『地域の目』は増え続けています。



『学校紹介』
上川口小学校 副校長 森田 弘文



出演
校：校長
P：PTA会長

校 「やあーみなさん。上川口小です。」
P 「校長先生、今から二人で学校紹介をするんですよ。」

校 「ませとけ！上川口小の自慢話でいいだろう。たくさんあるぞ。」
P 「上川口小と言えば、何と言っても地域の自然の豊かさが自慢ですね。」

校 「そうだね。自然観察・環境教育、裏山自然探検ランド、また、児童玄関の自然ふれあい広場もいだろう。」
P 「そうですね。すばらしいですね。このような自然体験・里山体験などができる上川は、他の地域の方々もみんなうらやましがっていますね。地域タウン誌にも紹介されて、それは嬉しかったですね。」

校 「今年、自然だけでなく地域の伝統文化も教育活動に取り入れてんだ。子どもたちはもちろん、先生方もみんな一生懸命だったんだ。」
P 「上川口小も獅子ですね。運動会では絶賛でしたね。さらに、バージョンアップして学芸会でも取り組み、Y新聞にも報道されましたね。」

校 「新聞報道といえば、上川のちの日も掲載されましたね。これは、とて



も意義のあることだと思えます。」
 P 「そうですね。今後もこの伝統を受け継いでほしいですね。」
 校 「上川は、本当にあつたかい地域だといつも感謝の気持ちで一杯です。」
 P 「ありがとうございます。上川はやっぱりチームワークがいいですね。」
 校 「それにフットワークもすばらしい。」
 P 「それから、上川口小は、PTAはもちろん、多くのボランティアの方々に支えられていますね。」
 校 「本当ですね。学校美化ボランティアの方々は、校庭だけでなく、裏山や谷戸の整備もしてくれました。」
 P 「安全ボランティアの方々や読書ボランティアの方々には、いつもお世話になっております。ありがとうございます。」
 校 「学校っていう所は、やっぱり地域に支えられているんですね。PTA万歳。上川万歳ですね。いつもいつも本当にありがとうございます。これからも、教職員・保護者・地域が一体となって、素晴らしい学校を築いていきましょう。」
 完

教育長との懇談会

平成二〇年度

小P連スポーツ大会結果

《ソフトボール》

- ☆ 優勝 由井第二小学校
- ☆ 準優勝 恩方第一小学校
- ☆ 第三位 上壘分方小学校

《バレーボール》

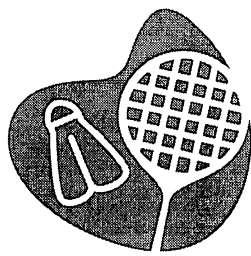
- ☆ 優勝 上壘分方小学校
- ☆ 準優勝 由井第三小学校
- ☆ 第三位 恩方第一小学校

《卓球》

- ☆ 優勝 元木小学校
- ☆ 準優勝 由井第三小学校
- ☆ 第三位 元八王子東小学校

《バドミントン》

- ☆ 優勝 第九小学校
- ☆ 準優勝 大和田小学校
- ☆ 第三位 由井第一小学校



★ 編集後記 ★

今回、第二ブロックでは、各校の活動を広報誌に載せさせていただきました。どのPTAも学校、地域と協力して、すばらしい活動を続けていることを、ご紹介できたとおもいます。

そろそろ、桜の便りも聞こえ、別れと出会いの季節を迎えます。皆さんにたくさんの素敵な出会いが訪れますように……。

中野北小学校
 PTA会長 落合 昌代

小P連だより第四一号担当

第二ブロック

- 第九小 ・ 中野北小 ・ 清水小
- 川口小 ・ 陶鎔小 ・ 上川口小
- 美山小 ・ 榎原小 ・ 松枝小
- 加住小